

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

公表:令和 6年 5月 22日

事業所名 oliveやまうち

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
環境・ 体制整備	1 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	3名	2名		活動支援によってスペースを分けて行っています。	利用定員の管理を継続していきます。
	2 職員の配置数は適切である	4名	1名		児童指導員・保育士を常に2名以上配置しています。	適切配置人数を守り、職員へ周知徹底していきます。
	3 事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている		1名	4名	段差の認識力・身体能力を持っているため現状維持	必要に応じて児童への補助を職員が行うようにしています。
業務改善	4 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	2名	3名		担当制を決めローテーションで業務内容を改善してる	ミーティングや職員間で共有し、今後も担当制でローテーションでの業務を維持していきます。
	5 保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	3名	2名			保護者の意見等を職員全体で把握し、改善に繋げていきます。
	6 この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	4名	1名		ホームページで公開しています。	ホームページに公表していることを職員へ周知していきます。
	7 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	2名	1名	2名	相談やアドバイスをいただいています。	現在は保護者の評価と事業所内評価のみですが、今後必要に応じて外部評価の実施を検討します。
8 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	5名			ZOOMを使い研修に参加しやすくなっている。	今後も外部の研修などを取り入れ、継続していきます。	
適切な 支援の 提供	9 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	4名	1名		毎朝のミーティング等で情報共有し、職員の意見も取り入れている。	継続して行っています。
	10 子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	3名	2名		独自のアセスメントシート利用しています。	事業所内の書式の共有に努めていきます。
	11 活動プログラムの立案をチームで行っている	4名	1名		職員で話し合い検討しながら決めている。	継続して行っています。
	12 活動プログラムが固定化しないよう工夫している	2名	3名		話し合う事で色々な提案を出している。	固定化しないように話し合いを重ね計画していきます。
	13 平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	4名	1名		長期休みには子供たちの意見も取り入れています。	課題を設定し支援に努めていきます。
	14 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	4名		1名	対象児の状況を考え、計画案を作成しています。	児童の状況に応じて支援計画を作成していきます。
	15 支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	4名	1名		朝礼などで、児童の状態を確認しています。	朝礼時に共有・確認を継続していきます。
	16 支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	1名	4名		翌日の朝礼にて振り返りを行っています。	継続して、共有していきます。
	17 日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	4名		1名	日々の記録に努めています。	記録をもとに検証・改善に努めます。
18 定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	4名		1名	中間評価をだし、今の課題を次の計画に入れていきます。	継続して取り組めるように努める。	
19 ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ合わせて支援を行っている	2名	3名		自立支援・制作・余暇を中心に組み合わせています。	継続して取り組めるように努める。	

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
関係機関 や保護者との 連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者 会議にその子どもの状況に精通した最もふ さわしい者が参画している	4名	1名		管理者が参加し ています。	継続して取り組んでいきます。
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等 の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡 調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連 絡)を適切に行っている	5名			毎朝、児童の情 報を共有してい ます。	継続して取り組んでいきます。
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場 合は、子どもの主治医等と連絡体制を整え ている		3名	2名	該当児童がいなし	重症心身障害児以外を受け入れる事業所として 登録しています。
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認 定こども園、児童発達支援事業所等との間 で情報共有と相互理解に努めている	2名	2名	1名	関係機関との共 有に努めていま す。	児童の状況により対応し取り組んでいきます。
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業 所から障害福祉サービス事業所等へ移行す る場合、それまでの支援内容等の情報を提 供する等している	2名	3名		該当児童なし。	多くの児童が地域に戻っています。
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援セ ンター等の専門機関と連携し、助言や研修 を受けている	3名	2名		研修を受け改善 に繋げている。	継続して取り組んでいきます。
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障 がいのない子どもと活動する機会がある	1名	1名	3名	活動を通して公 園などで遊ぶ事 があります。	交流できる機会を計画していきます。
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加 している		2名	3名	今年度は案内が ありませんでした	案内がある際には参加していきます。
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合 い、子どもの発達の状況や課題について共 通理解を持っている	4名	1名		送迎時や、モニタ リングを通して相 談に努めています。	継続して取り組んでいきます。
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保 護者に対してペアレント・トレーニング等の支 援を行っている	3名		2名	研修案内・相談 に乗りアドバイス をしています。	ペアトレに関わらず保護者との相談体制を 整えていきます。
保護者への説明 責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等につ いて丁寧な説明を行っている	5名			契約時に説明を しています。	契約時に、説明し対応を行う。
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談 に適切に応じ、必要な助言と支援を行って いる	3名	2名		電話や自宅訪問 などし助言を行 っています。	モニタリング時に悩みを解決できるように努 めていきます。
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等 を開催する等により、保護者同士の連携を 支援している	5名			保護者会を年2 回開催していま す。	継続して開催できるように努めます。
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応 の体制を整備するとともに、子どもや保護者 に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適 切に対応している	4名	1名		情報を共有し対 応に努めている。	意見などの周知方法を検討していく。
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事 予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者 に対して発信している	3名	2名		利用カレンダーを 使い発信してい ます。	継続し行きます。
	35	個人情報に十分注意している	4名	1名		注意している。	今後も注意し継続していきます。
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎 通や情報伝達のための配慮をしている	4名	1名		出来る限り努め ています。	今後も継続していきます。
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地 域に開かれた事業運営を図っている		2名	3名	インターンシッ プ(学生)の受け入 れをしています。	興味・理解をいただいている方との交流から 深めていきます。

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
非常時 等の 対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	3名	2名		新しくマニュアルの見直しをしています。	年に一度のマニュアルの整備、職員や保護者が閲覧が出来る様に所内設置する。
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	5名			・定期的に子供達も避難訓練を行っている。 ・避難ルート・避難バックなどの定期確認をしています。	今後も定期実地に努めます。
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	4名	1名		研修など行っている。	今後も定期実地に努めます。
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	3名	2名		保護者へ説明し、同意書をいただいている。	毎年組織内で身体拘束に対する決定事項の見直し、職員への周知。保護者への説明や了解を得ていきます。
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	1名	3名	1名	アレルギーのある児童へはおやつ持参の提案をしています。	・対象児なしだが、受け入れの際は医師の指示書に基づき対応していきます。 ・職員への情報共有も徹底していきます。
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	4名	1名		研修で学んだ事を共有していく機会を設定している。	大きなけがにつながらないように努めていきます。